

# 染協

2023.5-6月号

vol.342

DYEING REPORT

# ニュース

## CONTENTS

### ファッション・トレンド

- 02 2023/24年秋冬プルミエール・ヴィジョン・パリ  
一般財団法人日本綿業振興会  
ファッション・ディレクター 柳原 美紗子

### Topics

- 06 中小機構：カーボンニュートラル  
日本染色協会 技術部

### Topics

- 13 経済構造実態調査

### 統計

- 14 染色整理加工実績推移(数量・金額・従業者数)  
15 ニssenケンだより  
16 お知らせ、主要行事、編集後記



NAGASE-OG COLORS &  
CHEMICALS CO., LTD.

# オー・ジー長瀬カラーケミカル株式会社

オー・ジー長瀬カラーケミカル(株)は染料や機能付与薬剤の販売を通じ  
繊維加工業界において、染色・仕上げ加工に関する  
『知恵(Wisdom)と知識(Intelligence)と技術(Technology)』を継承してまいりました

これからも、環境に適応したカラーとケミカルで  
暮らしに彩りと快適をお届けします

\* 連絡先(国内)

オー・ジー長瀬カラーケミカル株式会社

本社 〒550-8668 大阪市西区新町1-1-17

<http://www.ognagase.co.jp/>

大阪 営業統括部 06-6535-2221 東京 東京営業課 03-5645-0600

東海 東海営業課 052-963-5650 北陸 北陸営業課 0776-36-8901

管理 経営管理部 06-6535-2200 技術 WIT事業室 06-6379-3111

\* 連絡先(海外グループ会社)

中国 長瀬欧積有色化学(上海)有限公司 (86)-21-5426-1812

econfidence<sup>®</sup>  
from DyStar<sup>®</sup>

DyStar<sup>®</sup>

Welcome to the World  
of DyStar<sup>®</sup>

自動車内装材用途シリーズ  
Dianix<sup>®</sup> AM/HLAシリーズ

環境に配慮した製品サービスの提供

Committed to Sustainability

ダイスタージャパン株式会社

本社 〒541-0052 大阪市中央区安土町1-7-20

セールスラボ 〒836-0017 福岡県大牟田市新開町2-65


大牟田工場 〒836-0017 福岡県大牟田市新開町2-65

TEL. (06) 6263-6670

TEL. (0944) 57-4144

TEL. (0944) 57-4131

[www.DyStar.com](http://www.DyStar.com)

 DyStar, econfidence and Dianix are registered  
trademarks of DyStar Colours Distribution GmbH  
Copyright of the material in this advertisement is  
owned by, or licensed to, DyStar.

## \* ～ 学会情報 ～ \*

### 繊維学会

- 2023年繊維学会年次大会 日 程：6月14日(水)～16日(金)  
会 場：タワーホール船堀(東京都)
- 第52回繊維学会夏季セミナー 日 程：9月7日(木)～8日(金)  
会 場：みんなの森ぎふメディアコスモス(岐阜県)
- 繊維学会秋季研究発表会 日 程：11月27日(月)～28日(火)  
会 場：京都府民総合交流プラザ京都テルサ(京都府)

### 日本繊維機械学会

- 第76回年次大会 日 程：6月1日(木)～2日(金)  
会 場：ハイブリッド開催  
大阪科学技術センターとMicrosoft Teams
- テキスタイルカレッジ「染色加工(理解に役立つ科学)」  
日 程：未定(9月頃)
- テキスタイルカレッジ「染色加工(基礎)」  
日 程：未定(10月頃)
- テキスタイルカレッジ「染色加工(実務と応用)」  
日 程：未定(11月頃)



## 広告掲載のご案内



年6回発行の「染協ニュース」に  
企業広告を掲載しませんか？

広告掲載料金内訳

A4版サイズ	年間回数	料金(消費税を除く)
1ページ	6回	18万円/年
1ページ	3回	9万円/年
1/2ページ	6回	9万円/年

その他の場合もご相談に応じます。

なお、広告の原稿作成、変更は貴社にてご負担をお願いします。

詳しくはHPをご覧ください。▶<http://www.nissenkyo.or.jp/>

ファッション・トレンド

# 2023/24秋冬 プルミエール・ヴィジョン・パリ

一般財団法人日本綿業振興会

ファッション・ディレクター 柳原 美紗子

2023 / 24 秋冬、プルミエール・ヴィジョン(PV)パリは、従来の9月から2カ月前倒しされ、昨年7月上旬、パリ・ノール見本市会場にて開催された。出展社数は44か国1,190社で、前年9月比32%増。来場者数も前年比37%増の118か国23,377名と発表されている。原料不足やエネルギー価格高騰が深刻な問題となる中、欧米中心に多数の有力バイヤーが参加し、日本や韓国からの来場も増えて東アジア市場にも明るい兆しが見られるなど、繊維産業の力強い回復が示唆される会期となった。

## ≡ 全般傾向

今シーズン、押さえておきたいポイントは「サステナビリテイ」と「クリエイティビテイ」である。バイヤーのサステナビリテイ重視の傾向は高まる一方で、ファッションテキスタイルはこれに因應するためにクリエイティビテイへのアプローチをアップデートしている。求められたのはいつまでも愛着をもって着用できるファッションである。2023 / 24 秋冬は一過性ではないトレンドを超えたシーズンとなる。

## サステナブルなファブリック

サステナビリテイは良識と表裏一体のコンセプト。環境への責任と、着心地の良さや美しさとのバランスのとれたクオリテイである天然繊維に焦点が当てられる一方で、合織もリサイクルや生分解性のある素材に目が向けられている。こうしたサステナブルなファブリックは、地球環境や人類への負荷が少なく、良質で長持ちして、しかも季節を問わず消費意欲をかき立てるとあって、今シーズンもファッションの鍵を握る素材となっている。

会場ではバイヤーのサステナブルなファブリックへの関心の高さを受けて、「エコ・イノベーション・フォーラム」が新設された。社会的責任やトレーサビリティ、ライフパン、環境に配慮した製法に配慮した厳選された素材展示に連日、大きな人だかりができていたのが印象的だった。

## 違いをつくるクリエイティビテイ

クリエイティビテイとサステナビリテイは対立する概念ではない。サステナビリテイを背景に、違いをつくるクリエイティビテイな製品を求めるシーズンが来ている。

人が他人と同じであることを嫌い、人目を惹きたいと考えるのは自然なことである。サステナブルな社会への移行を図りながら、ユニークでありたい、個性を編み出したいという思いを叶えるファッションが浮上する。いつまでも大事にしたくなるものやリサイクルできるものだけではない、アフターコロナの楽しい気分に乗った大胆な遊び心のあるデザインも戻ってきている。そうした気分コミットする素材に注目が集まったのも



今シーズンの特徴である。

### ≡ ファブリック・ハイライト

今シーズンのファブリックのハイライトとして、次の3つの方向性が挙げられている。



### 「エッセンシャル」の再解釈

触感、もしくは視覚に訴える価値を付与することにより、カジュアル市場やテラード市場向けに必要不可欠な「エッセンシャル」のコンセプトを見直し、再解釈する方向。顕著なのが



クラシカルなウールで、誰もが知っている確かな価値のあるものを追求するシーズンに欠かせない素材である。ここでは差異化を図りたい願望を反映するように、単なるベーシックとの違いを強調した、パワフルな創造力を発揮したものが提案されている。タイムレスな無地素材がより複雑な織り組織へバージョンアップされたり、見た目と異なる思いがけない感触に仕上げられていたり。またかつて流行った既視感のある素材、例えばリフレッシュされたピーチスキンなどへの関心も。アイコン的なモチーフも一捻りされて、3D効果や変わり柄に、通常とは異なる配色で再演出される。主役の座に躍り出ているのが千鳥格子とシエパードチェックで、他のチェックやストライプを凌駕する勢いで見られる。

### 節度ある豊かさ

「抑制的でリッチ」なテーマで、「シンプル」がキーワードになりつつある。過剰さが目立つた数シーズンを経て、厳格と呼べるほど簡素に見えて、実はリッチで内側からじみ出る豊かなクオリティを持っている。クオリティの概念も進化し、ここで言うクオリティとは耐久性のあるサステナブルな品質を指していることに注意。

要は、外見が質素なラグジュアリーを目指す方向で、抑制的であるくせに、人目を惹きつけて離さない。その秘密は、梳毛ウールや高級綿100%使いなど高品質素材による織り技術と糸にあることに着目したい。

### 例外的な不完全

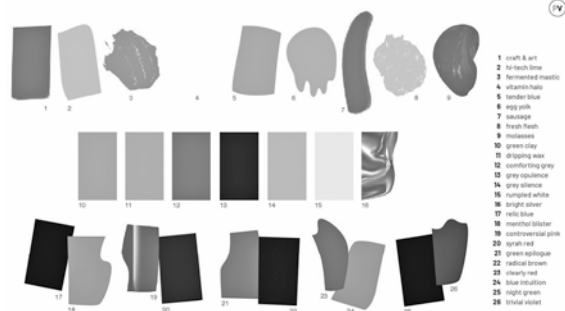
本物に敬意を払い、粗削りの美を賞賛する方向。追求されるのはナチュラルな自然素材ならではの高貴な雰囲気を持つグランジ効果である。エレガントさとプリミティブな感覚、その巧みなさじ加減による不完全性が大きな魅力となっている。

加工される前の自然な状態の素材の姿に目が向けられ、飾りのない素朴なテイストが称えられる。滑らかな表面感に替わって、心地よい柔らかさを伴う起伏のある生地や太いフアンシーヤーン使用のものも目立つ。

### ≡ カラー

キーカラーとなったのは「カラードグレー」。ほんのり緑やピンク味を帯びたグレー、光沢をたたえたシルバーがシーズンを彩る。

PVファッションコーディネーターのエルザ・メイ氏は、グレーをクローズアップした理由について「色味のあるグレーは派手過ぎ



ず目立ちすぎることがない、洗練された上品なカラー。とくにシルバーは落ち着きのある静けさと華やかに着飾る喜びが共存する注目のカラー」と語っている。

実際、グレーはどんな色にも馴染む基本色である。素材そのものが持つ質感やテクニクの妙を際立たせるのに重要な色であり、環境への責任ある素材が求められる今季はとくに、シンプルでクラシカルな生地の付加価値を高めることになる。

PVの提案色(26色)は、各々個性的な特徴が際立つ3つのカラーグループで構成されている。1



つは美食系の陽気でリッチなカラー、2つ目はグレーを中心とした穏やかなニュートラルカラー、最後はリズムカルな、もしくは退廃的なコントラストを生み出すダーク/ペールにブライต์が交錯する色合いである。

全体に色彩の濃淡のバランスが見事に取れた色調で、控えめな色使いも、また思い切った大胆な配色もできるパレット。コレクションをパーソナライズする方向へ導くカラーレンジとなっている。

### ≪≪ファブリックのポイント

サステナビリティを背景に、シーズンを越えて長く着られる「シーズンレス」な生地が焦点。といっても視覚効果の豊かなものが多く、春夏のように軽やかな透け感のある薄地や、様々な凹凸のテクニクのもの、また楽しい色柄のものなど、これまでにない目新しいものも増えている。

そのキーポイントを挙げながら、以下傾向を探ってみよう。

#### シエルトーのように高密度

打ち込みのよい緻密な組織で非常にしつかりとした構造のファブリックが、贅沢なエレガンスとともに、重さの感覚や安心感を強みに、存在感を取り戻す。高機能性も差異化の主要ファクターで、アウトドアスポーツ用にパフォーマンス性に優れたギャバジンなどのウールやコットン素材に目が向けられている。エラスタンに替わる天然繊維

100%メカニカルストレッチも台頭し、軽快で快適な着心地を提供している。

#### 不思議なやわらかさ

誰もが安心と心の平安を追求するシーズンとあつて、クリーミーでソフトなやさしい感触の素材が歓迎されている。シャツに心地よい肌触りのエメリー起毛や、また90年代に流行ったパウダースエードのような不思議な手触りのピーチスキンがパリッとしたりしなやかなバリエーションで蘇っている。ソフトそのものといったベルベットやペロア、モールスキン、シュニール系でモチーフを強調したレースも。カジユアルなコーデュロイもしなやかなバリエーションで人気を復活させている。さらに暖かな素材の代表、フリースはコットンを用いたサステナブルな天然素材バリエーションのものが開発されて、新たな興味の対象になっている。

#### 凹凸ストラクチャー

凹凸のある組織がヴィジュアルや感触の目新しさで人気を拡大中。シアサツカー、ピケや柄織ジャカード、うねの立つたコードなど。とくにハチの巣状の立体的模様をつくるハニカムへの関心も高まっている。スツキリとした外見でハニカム構造の大きいものから一捻りを加えたもの、ポロシャツ向けの小さいバリエーションのものまで。カラーや糸番手、ファンシーな織りを組み合わせたツイードも。さらにシワ加工やエンボス、プリーツ加工など。



### ハウンドトゥース・インベージョン

ハウンドトゥース(千鳥格子)が、強迫観念に取りつかれたかのように至るところに見られる。プリントを始め、クロスステッチ刺繍で描かれたり、キルティングで立体的に膨らんでいたたり、レリーフのギピュールレースに組み込まれたり。ジャカードやツイードでは、柄が拡大され、色彩も強調されて、奔放な過剰さを表現しているものが多数登場している。

### エクセプションナル・グランジ

ファッションは再びグランジに回帰。素材をぞ

んざいに扱ってダメージを与えたかのように見せる、挑発的なアプローチが見られる。不規則な織りと糸がつくり出すラステイックな味わいや、引き裂かれてボロボロになったかのようなジャカード、ワイルドなフェイクファー、ニードルパンチのようなぼやけた外見、もちろんダメージ加工のデニムも。混沌としているように見えるルックは、実は計算に基づいて意図的に生み出されたもの。シックなブルジョワ風効果を捨て去ることで、逆に自然な居心地のよいムードが演出される。

### クイックシルバー

このシルバーは、鉛と水銀の中間に位置し、錬金術のような神秘的な輝きを放ち、魅惑的な雰囲気を出している金属である。鎧兜を思わせるファブリックやニットには、丸みを帯びたキルトで強調されたパターンが刻まれ、スパンコールで覆われて、まるで銀の川のようなようである。煌めくジャカードニットで1930年代のアルデコのモチーフを思い起こさせるものや格子柄のレースも目に付く。シルバーのラミネートが光を受けて、プリントを引き立てる。

### イルミネーション(中世の写本装飾)

23・24年秋冬コレクションの装飾は、中世がメインストーリー。ペン画、装飾モチーフ、ステンドグラスのアウトライン、鍛鉄のスクロールがプリントや刺繍の上に展開される。紋章や中世のレタリング、生命の樹、イルミネーションなど、中

世のデザインを現代的、都会的にグラフィック装飾としてアレンジすると、若者たちのロックとパロックの間をつなぐアイテム向け素材となる。

### プリントはアートのシーズン

様々な資料を参照して、ハイブリッドや歪曲、パロディをつくり出すアートのシーズン。

大きく3つのグループが浮かび上がっている。

1つは「装飾的な抽象化」で、花はもはや咲き誇るものではなく、滲んでいるように描かれる。カモフラージュ的な提案も多くなっている。幾何学模様も量されたり、ジグソーパズルのようにランダム化されたり。地質学的テクスチャー、大理石の脈打つ石目、ぐらつく線、電氣的アーチなどで、まるで幻想的なリサイクルによって生み出されたかのようなグラフィックも。

2つ目は「奇抜なフォークロア」で、東欧の花々やイカットがルーツの柄。とはいえ70年代のサイケデリックを思わせるスタイルなので、一見フォークロアっぽくないように見える。モチーフは大きめで、しなやかにゆったりと表現されている。

最後に「写真アート」。色彩豊かな風景を思い浮かべ、夢のような宇宙に飛び込み、木や山を身にまとう。ポップとシュールレアリスムの中間に位置するプリントデザインで、職人による転写やアンディ・ウォーホル風のスクリーンプリントのシリーズも。カメラの故障を思わせる、ぼやけたイメージや動きのある光にも注目。

Be a Great Small.  
中小機構

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

中小機構は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

# カーボン ニュートラル オンライン相談窓口

経験豊富な  
専門家による  
アドバイス

無料で  
何度でも

web会議  
システムで  
全国どこからでも  
相談可能

中小機構では、中小企業・小規模事業者の方々を対象に、  
カーボンニュートラル・脱炭素に関する相談について専門家がアドバイスを実施しています。

カーボンニュートラルを  
はじめとした環境への取り組み、  
SDGsの推進など、  
お悩みや疑問はありませんか？

SBTって  
何ですか

CO<sub>2</sub>排出量を  
減らすには  
どうするの？

取引先に  
アピールするには  
どうするの？

再生電力を  
使用したい

CO<sub>2</sub>排出量って  
どうやって  
調べたいの？

経営に  
どう活かしたら  
いいの？



中小機構のカーボンニュートラル相談窓口をぜひご利用ください！

## 相談方法

オンライン会議システム  
(Zoom・Microsoft Teams<sup>®</sup>)

※操作方法等もご案内しますので、  
初めてでも安心してご利用いただけます。

## 相談時間

毎週火曜日と木曜日・  
午前9時～午後5時

1回の相談時間は60分、  
何度でも相談できます

## 申込み

事前予約制

お申し込みはパソコン、スマホから  
下記申込URLもしくは  
QRコードよりお申し込みください

[https://www.smrj.go.jp/  
contact/keiei\\_08/index.php](https://www.smrj.go.jp/contact/keiei_08/index.php)



詳細は、右記WEBページをご覧ください ▶ <https://www.smrj.go.jp/sme/consulting/sdgs/favgos000001to2v.html>

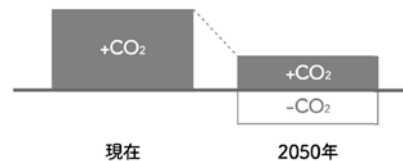


## カーボンニュートラルとは？

### 取り組むとどんなメリットがあるかご存じですか？

カーボンニュートラルとは、「温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること」を意味します。

2020年10月に、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。二酸化炭素などの温室効果ガスの「排出量」から、植林や森林管理などによる「吸収量」を差し引いて合計を実質的にゼロにする、という意味です。



#### カーボンニュートラル取り組みのメリット

近年では、グローバルに展開している企業を中心に取り組みが急速に広がっており、中小企業・小規模事業者が取り組むことでも様々なメリットがあります。

SDGsの  
達成



地球環境に貢献



取引先からの  
信頼性向上



その他、新たな需要の獲得・資金調達手法の拡大など、様々な効果が期待できます。

#### カーボンニュートラル 実現のポイント

実施すべきポイントは  
大きく3つです。

1

エネルギーの  
使用量を削減する

2

使用するエネルギーを  
再生可能エネルギーに  
切り替える

3

CO<sub>2</sub>を吸収・除去する  
取り組みを行う  
(例：植林、貯留)

1 2 は中小企業単独で取り組みが可能です！

### 貴社でもカーボンニュートラルへの取り組みをはじめませんか？

まず  
手はじめに！

#### カーボンニュートラル実現に向けたチェックシート

自社の取り組みを確認できるセルフチェックシートを掲載しています。解説には取り組み方法や詳細ページのリンクがまとめられていますので、是非ご利用ください。

[https://j-net21.smrj.go.jp/special/chusho\\_sdgs/carbonneutral/checksheet.html](https://j-net21.smrj.go.jp/special/chusho_sdgs/carbonneutral/checksheet.html)



お問い合わせ：独立行政法人 中小企業基盤整備機構 経営支援部 企業支援課 Tel:03-5470-1564

# カーボンニュートラル実現に向けた チェックシート

	No.	質問	確認	解説
現状把握 (認識・知識)	1	エネルギーの種類別 <sup>(注)</sup> に毎月使用量を整理していますか <sup>(注)</sup> 電気/灯油/軽油/都市ガス等の別	<input type="checkbox"/>	エネルギー使用量の把握には、電力会社等からの明細が有効です。月別推移、前年同期との比較などを可視化することにより改善点が見つかります。
	2	事業所のCO <sub>2</sub> の排出量(年間)を把握していますか	<input type="checkbox"/>	自らの事業所のCO <sub>2</sub> 排出量を把握することがカーボンニュートラルへの出発点です。燃料等使用量からCO <sub>2</sub> 排出量への換算が可能です。以下を参考にしてください。 <b><u>CO<sub>2</sub>チェックシート(日本商工会議所)</u></b>
	3	事業所の電気、燃料の使用量を用途 <sup>(注)</sup> 別に把握していますか <sup>(注)</sup> 部門、工程、設備	<input type="checkbox"/>	多くの場合、電気や燃料の使用量を示す計量器は細かく設置されていません。そのため、用途別の使用量を求めるためには、計算による推計を行うか、可搬式計器による計測が必要です。そのようにして使用量を用途別に把握すれば、CO <sub>2</sub> 発生量の多い用途を絞り込むことができます。
取り組み状況 (行動・意識)	4	省エネルギー対策の検討・外部診断を受診したことがありますか	<input type="checkbox"/>	外部診断を受診することによりCO <sub>2</sub> 削減率の大きな改善点を見出せます。省エネルギーセンターおよび各地域の省エネ支援団体が省エネに関する診断を実施しています。 <b><u>一般財団法人省エネルギーセンター</u></b> <b><u>省エネお助け隊</u></b>
	5	省エネルギー・カーボンニュートラルを目的とした設備投資に、補助金が活用できることを知っていますか	<input type="checkbox"/>	様々なカーボンニュートラルに関連する補助金制度があります。 <b><u>一般社団法人環境共創イニシアチブ</u></b> <b><u>経済産業省のカーボンニュートラルに向けた中小企業支援施策</u></b>
	6	中小企業のカーボンニュートラルへの取組事例を知っていますか	<input type="checkbox"/>	以下の中小企業の取り組み事例が参考になります。 <b><u>中小規模事業者のための</u></b> <b><u>脱炭素経営ハンドブックver.1.1</u></b>

	No.	質問	確認	解説
計画策定(計画・予想・今後の方針)	7	カーボンニュートラル実現に向けた政府の取り組みを知っていますか	<input type="checkbox"/>	カーボンニュートラルへの挑戦が、産業構造や経済社会の変革をもたらし、大きな成長につながるという発想で、日本全体で取り組んでいくことが重要です。 <b><u>脱炭素ポータル</u></b>
	8	自社で太陽光など再生可能エネルギーでの発電を検討しましたか	<input type="checkbox"/>	再生可能エネルギーは電気に変換して使用するのが使いやすく現実的です。その中でも、最も着手しやすいものが太陽光発電となります。 <b><u>一般社団法人太陽光発電協会</u></b>
	9	再生可能エネルギーで発電した電気を購入することを検討しましたか	<input type="checkbox"/>	自社で再生可能エネルギーを発電できない場合は、再生可能エネルギー発電を行っている小売電気事業者から電気を購入できます。これにより、自社にあった電力会社の選択が可能となります。 <b><u>電力小売全面自由化</u></b> <b><u>企業・自治体向け電力調達ガイドブック第5版(2022年版)</u></b>
	10	<b>【製造業向け】</b> バイオマス燃料等を使用することで、CO <sub>2</sub> を削減ができることを知っていますか	<input type="checkbox"/>	バイオマス燃料も再生可能エネルギーです。建築廃材、製材廃材などをチップにしたものなどがあります。また、再生可能エネルギーは電気で利用することが多く、中期的には化石燃料利用の設備から電気利用の設備に切り替えることもCO <sub>2</sub> 削減に貢献します。
	11	再生可能エネルギー発電(自家使用)や再生可能エネルギー電気の購入ができない場合、あるいはそれだけでは不足する場合 …再生可能エネルギーの環境価値を購入できることを知っていますか	<input type="checkbox"/>	再生可能エネルギーによる電力を使用しなくても、グリーン電力証書 <sup>(注)</sup> で環境価値を購入することにより、再生可能エネルギーを使用しているとみなされます。 <sup>(注) 環境価値をグリーンエネルギー証書として証書化すること</sup> 証書の購入はグリーン電力の発電設備の建設、維持、拡大に貢献します。 <b><u>J-クレジット制度</u></b>

### 【オンライン相談窓口】

中小機構では、毎週火曜日と木曜日に専門家によるカーボンニュートラルについてのオンライン相談会(事前予約制、1時間無料)を実施しています。

是非お気軽にご利用ください。

中小機構 カーボンニュートラルに関する相談ページ

<https://www.smrj.go.jp/sme/consulting/sdgs/favgos000001to2v.html>



# 中小企業のSDGs推進に関する実態調査(2023年) (アンケート調査)

2023.3.31  
(独) 中小企業基盤整備機構 広報・情報戦略統括室 総合情報戦略課



## 【調査結果のポイント】

- ・SDGsを十分に理解・やや理解している企業は40.9%。前回調査(2022年1月)時よりわずかに(2.1ポイント)上昇。
- ・SDGsの取組企業・取組予定企業は43.8%と3.2ポイント上昇も、今後も取り組む予定のない企業も変わらず3割程度存在。
- ・SDGsの取組企業・取組予定企業の進捗状況は、「SDGsに対する理解を進めている段階」(40.0%)が最多。
- ・補助金・助成金、SDGs推進指針の策定・公表、SDGs取組事例の公表などの支援ニーズが高い。

※前回調査結果(2022年3月公表) URL: [https://www.smrj.go.jp/research\\_case/research/questionnaire/index.html](https://www.smrj.go.jp/research_case/research/questionnaire/index.html)

## (1) 調査概要

- 調査日時: 2023年1月26日~30日
- 調査方法: Webアンケート
- 調査対象: 全国の中小企業者2,000

(中小企業基本法における中小・小規模企業の定義に基づく)

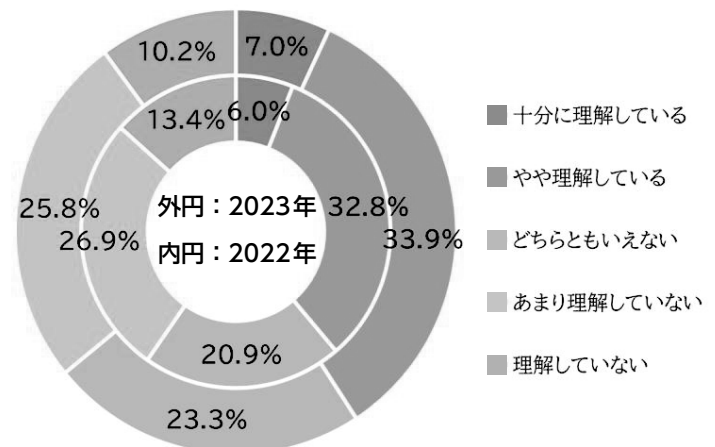
図表1 調査対象業種の構成比 ( )内は小規模企業数

全産業(合計)		回答企業数/構成比		
		2,000(1,544)	100.0%	
製造業		1,000(714)	50.0%	
非製造業	建設業	200(175)	10.0%	
	卸売業	200(129)	10.0%	
	小売業	300(271)	15.0%	
	サービス業	情報通信	100(74)	5.0%
		宿泊・飲食業	100(90)	5.0%
		その他	100(91)	5.0%

## (2) SDGsに対する理解度は前回調査時よりわずかに(2.1ポイント)上昇

SDGsについて理解している(十分に理解している)「やや理解している」は40.9%で、前回調査の38.8%を2.1ポイント上回った。わずかにではあるが、SDGsに対する理解は高まりつつあることがわかる。(図表2)

図表2 SDGsに対する理解度 対前年比較 (n=2,000 単一回答)

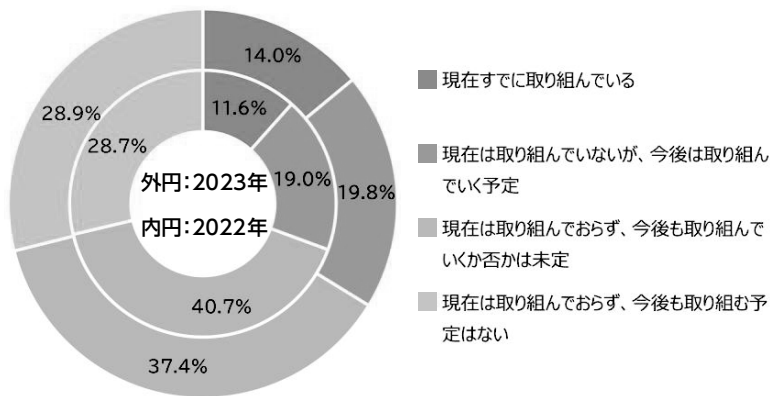


## (3) SDGsの取組・予定企業は若干増加するも、今後も取り組む予定がないとする企業も変わらず3割程度存在

SDGsの取組状況について、「現在すでに取り組んでいる」(14.0%)と「現在では取り組んでいないが、今後は取り組んでいく予定」(19.8%)の合計は33.8%となり、前回調査の30.6%を3.2ポイント上回った。一方、「現在では取り組んでおらず、今後も取り組む予定はない」は28.9%で、前回調査の28.7%と同様の3割程度変わらず存在している。(図表3)

SDGsの取組状況を従業員規模別にみると、「現在すでに取り組んでいる」が201~300

図表3 SDGsの取組状況 対前年比較 (n=2,000 単一回答)

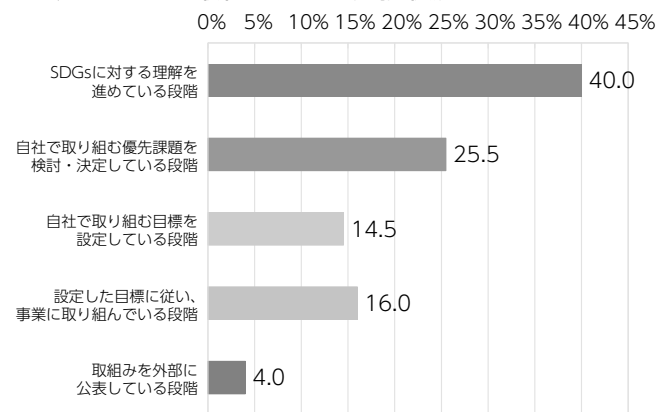


図表4 SDGsの取組状況【従業員規模別】 (n=2,000 単一回答)

従業員規模	2022年				2023年							
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	0%	20%	40%	60%	80%	100%
301人以上			58.6	24.2	6.9	10.3			29.6	22.3	37.0	11.1
201~300人			48.7	25.7	17.9	7.7			50.0	30.0	16.0	4.0
101~200人			20.7	32.5	37.0	9.8			49.0	20.4	30.6	
51~100人			22.9	36.5	31.2	9.4			21.1	24.3	41.6	13.0
21~50人			21.6	26.1	42.6	9.7			10.3	24.5	41.8	23.4
6~20人			8.4	16.1	41.6	33.9			17.6	26.5	36.0	19.9
5人以下			8.4	16.2	38.8	36.6			8.4	16.2	38.8	36.6

■ 現在すでに取り組んでいる  
 ■ 現在は取り組んでいないが、今後は取り組んでいく予定  
 ■ 現在は取り組んでおらず、今後も取り組んでいくか否かは未定  
 ■ 現在は取り組んでおらず、今後も取り組む予定はない

図表5 SDGsの取組みにみる進捗状況 (n=675 単一回答)



SDGsの進捗段階ごとに期待する支援策としては、「特に期待していない」を除き、全ての進捗段階においてSDGsに取り組む際活用できる

「SDGs推進に向けて期待する支援策は、「特に期待していない」が58.4%と約6割を占める一方、「SDGsに取り組む際活用できる補助金・助成金」(22.2%)、「中小企業のためのSDGs推進指針の策定・公表」(13.1%)、「SDGs取組事例の公表」(10.3%)などが、前回調査と若干の順位の変動はあったものの、高い割合を占めている。(図表7)

「現在すでに取り組んでいる」「現在は取り組んでいないが、今後は取り組んでいく予定」の企業におけるSDGsの進捗状況は、「SDGsに対する理解を進めている段階」(40.0%)が最も多く、次いで「自社で取り組む優先課題を検討・

**(4) 取組・予定企業のSDGsの進捗状況は、「理解を進めている段階」が40%で最多**

「現在すでに取り組んでいる」「現在は取り組んでいないが、今後は取り組んでいく予定」の企業におけるSDGsの進捗状況は、「SDGsに対する理解を進めている段階」(40.0%)が最も多く、次いで「自社で取り組む優先課題を検討・

「現在すでに取り組んでいる」「現在は取り組んでいないが、今後は取り組む予定」の企業におけるSDGsの取組みに向けた課題としては、「特に課題はない・わからない」(21.6%)を除く

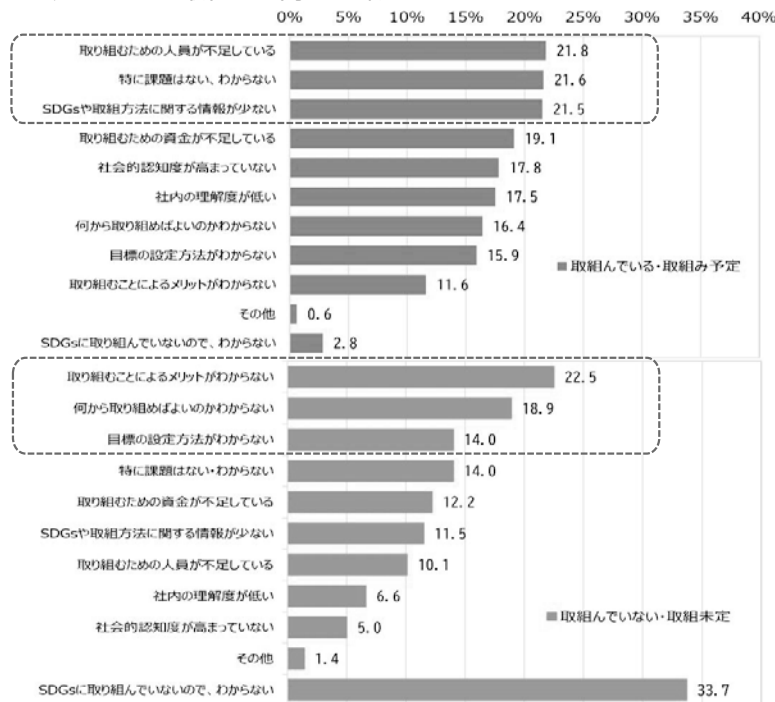
**(5) 取組・予定企業では人材、情報及び資金の不足、未取組・取組未定企業ではメリットや取組方法がわからないことが課題**

決定している段階」(25.5%)となっている。「取組みを外部に公表している段階」まで到達している企業はわずか4.0%であった。(図表5)

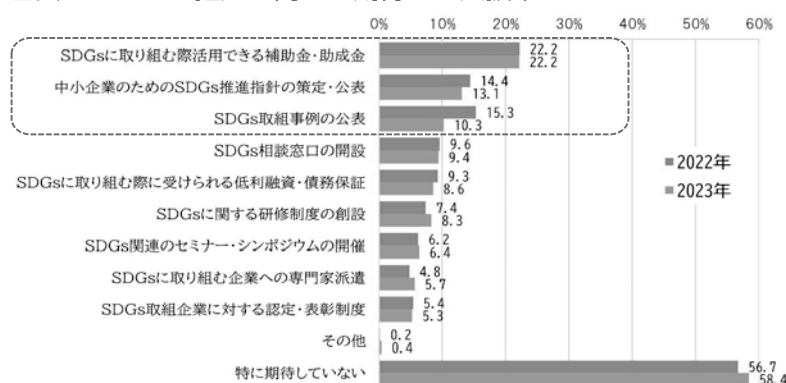
**(6) 補助金・助成金、SDGs推進指針の策定・公表、SDGs取組事例の公表などの支援ニーズが高い**

と、「取り組むための人員が不足している」の21.8%が最も多く、次いで「SDGsや取組方法に関する情報が少ない」(21.5%)、「取り組むための資金不足している」(19.1%)の順で続く。一方、「現在は取り組んでおらず、今後も取り組んでいくか否かは未定」「現在は取り組んでおらず、今後も取り組む予定はない」企業では、「取り組むことによるメリットがわからない」(22.5%)が最も多く、次いで「何から取り組めばよいかわからない」(18.9%)が続いている。(図表6)

図表6 SDGsの取組みに向けた課題 (n=2,000 複数回答)

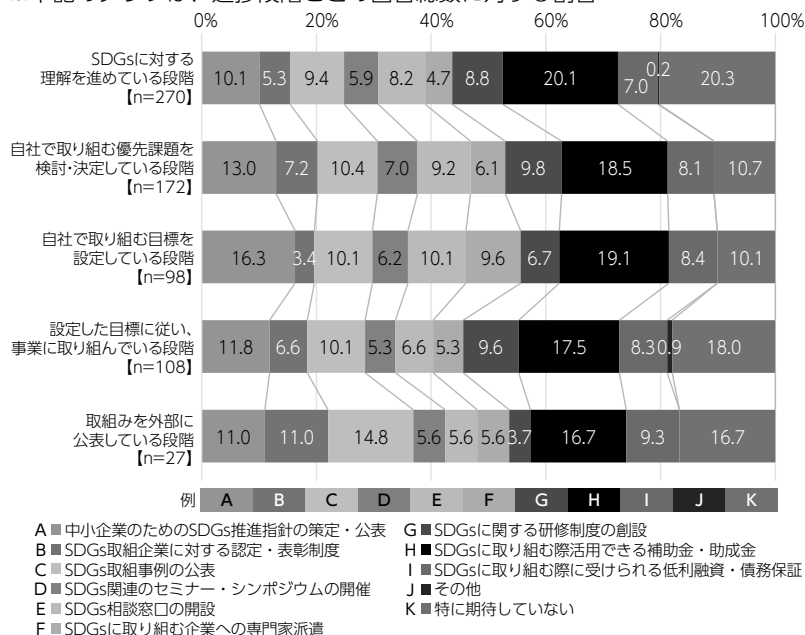


図表7 SDGsの推進に向けて期待する支援策 (n=2,000 複数回答)



図表8 進捗段階別における期待する支援策 (n=675 複数回答)

※下記のグラフは、進捗段階ごとの回答総数に対する割合



補助金・助成金」、「中小企業のためのSDGs推進指針の策定・公表」などの期待が総じて高い。これらを除くと、SDGsに対する理解を進めている段階では満遍なく支援を期待する傾向がみられる。一方、自社で取り組む優先課題を検討・決定している段階では、「SDGs取組事例の公表」(10・1%)、自社で取り組む目標を設定している段階では、「SDGs相談窓口の開設」(10・1%)、設定した目標に従い、事業に取り組んでいる段階では、「SDGsに関する研修制度の創設」(9・6%)、取組みを外部に公表

(7) まとめ

今回の調査結果によると、SDGsに取り組んでいる、あるいは今後取り組む予定の企業はわずかに増加しているものの、今後取り組む予定がないとする企業も一定程度変わらず存在している。こうした企業がSDGsに関心をもち、

している段階では、「SDGs取組企業に対する認定・表彰制度」(11・0%)などの割合が高くなっており、それぞれの進捗段階ごとに期待する支援の特徴が伺える。(図表8)

取組みを進めてもらうためには、SDGsへの理解をより一層深める施策を展開する必要があり。なによりも、なぜ今日本でSDGsへの取組みが求められているのか、大企業のみならず中小・小規模企業もSDGsに取り組む必要があるのか、引き続き、丁寧でわかりやすく説明していくことが求められる。

独立行政法人中小企業基盤整備機構  
 総合情報戦略課  
 担当：葦浦、朱山、伊原  
 TEL：03-5470-1521 (部門代表)  
 Email：chosas@smj.go.jp

安心まるわかり! \ みんなの /

# 経済構造 実態調査

基幹統計調査



- 全ての産業の法人企業が対象になります。
- インターネットでの回答を推奨しています。

経済構造実態調査へのご理解・ご回答をお願いします。



# 染色整理加工実績推移 (数量・金額・従業者数)

前年比：%

項目	織物				ニット生地				織物・ニット生地合計				従業者数			
	数量 (百万㎡)			前年比	金額		数量		前年比	金額		前年比	(人)	前年比		
	長繊維	短繊維	計		(億円)	(百万㎡)	(億円)	(百万㎡)		(億円)						
2013年	775	652	1,427	96.3	1,232	96.7	409	97.5	469	95.1	1,835	96.6	1,701	96.3	10,570	97.4
2014年	785	638	1,424	99.8	1,267	102.8	412	100.7	476	101.4	1,835	100.0	1,743	102.4	10,262	97.1
2015年	768	653	1,421	(99.9)	1,268	100.1	403	97.8	465	97.8	1,824	(99.4)	1,733	99.5	10,162	99.0
2016年	767	648	1,416	99.6	1,251	98.6	401	99.7	460	98.8	1,817	99.6	1,710	98.7	10,321	101.6
2017年	778	643	1,421	100.4	1,242	99.3	400	99.8	448	97.5	1,821	100.2	1,690	98.8	10,076	97.6
2018年	774	628	1,402	98.7	1,233	99.3	411	102.6	455	101.5	1,813	99.6	1,688	99.9	10,196	101.2
2019年	756	605	1,361	97.0	1,217	98.7	402	97.7	442	97.0	1,763	97.2	1,659	98.3	9,985	97.9
2020年	601	567	1,167	85.8	977	80.2	347	86.5	370	83.7	1,514	85.9	1,346	81.2	9,703	97.2
2021年	619	557	1,176	100.8	1,019	104.3	379	109.1	397	107.5	1,555	102.7	1,416	105.2	9,513	98.0
<b>2022年</b>	<b>606</b>	<b>558</b>	<b>1,165</b>	<b>99.0</b>	<b>1,081</b>	<b>106.1</b>	<b>388</b>	<b>102.4</b>	<b>418</b>	<b>105.3</b>	<b>1,552</b>	<b>99.9</b>	<b>1,500</b>	<b>105.9</b>	<b>9,103</b>	<b>95.7</b>
2022年1月	49	42	91	101.0	81	107.4	29	107.0	29	102.9	120	102.4	110	106.2	9,407	97.0
2023年1月	48	40	88	96.6	84	103.1	31	106.0	33	113.0	118	98.9	117	105.7	9,017	95.9
2022年2月	50	45	96	100.0	85	106.5	30	101.0	31	100.8	126	100.3	116	104.9	9,356	97.3
2023年2月	50	45	95	99.5	91	106.7	32	106.4	35	112.6	127	101.2	126	108.3	8,976	95.9
2022年1-2月	99	88	186	100.5	166	107.0	59	103.8	61	101.8	246	101.3	227	105.5	-	-
2023年1-2月	98	85	183	98.1	174	104.9	63	106.2	68	112.8	246	100.1	243	107.0	-	-

(従業者数は1月・2月末)

(注) 2021 (令和3)年以前の数値は、経済産業省 生産動態統計年報 繊維・生活用品統計編による確定値、2022 (令和4)年、2023 (令和5)年の数値は、生産動態統計月報の累計です。

2015 (平成27)年1月に経済産業省 生産動態統計調査が改正され、削除、統合された品目があります。

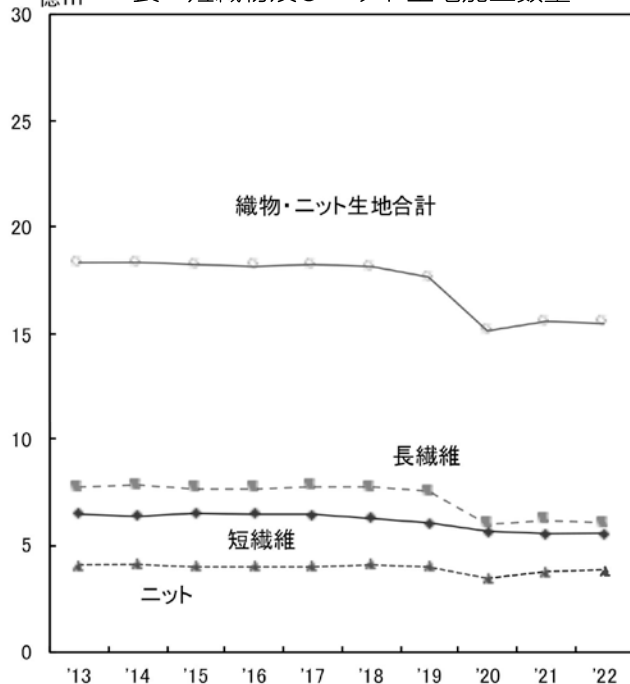
2015 (平成27)年 削除：織物の「麻織物」、毛布の「毛布」及び「加工金額」

加工数量の前年比の( )内の数値は、2015 (平成27)年改正に対応するため、2014 (平成26)年の数値から削除された「麻織物」を差し引いた数値と比較して算出した比率です。

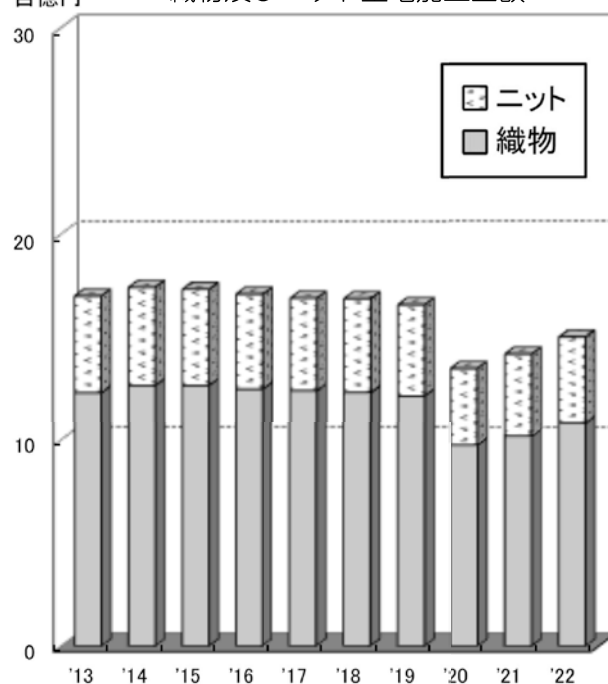
四捨五入により下一桁に誤差の生じる場合があります。

比率は数量千㎡、金額千円単位での計算値。

億㎡ 長・短繊維及びニット生地加工数量



百億円 織物及びニット生地加工金額



(注) 2015 (平成27)年に経済産業省 生産動態統計調査が改正され、削除された品目があります。



## Basic knowledge of Harmful substances – 有害化学物質の基礎知識⑤

SDGsが目指す世界の具現化に向けて、繊維・ファッション産業における取組が進んでいます。

特に人体や自然環境に悪影響を与える有害化学物質対策は重要なテーマとなっており、原料・加工等の生産工程でそれらを排除する動きが活発化しています。

アジアで唯一のエコテックス®試験・認証機関であるニッセンケンでは、早い段階からこのテーマに取り組み、化学物質管理に関するノウハウと知識を蓄積してきました。また有害化学物質の環境排出ゼロを目指す世界的有志企業連合「ZDHC」認定試験機関となっています。

有害化学物質対策には、各物質の特徴を知ることが重要です。2022年11-12月号に続き、各種規制対象物質の特徴等をお伝えしていきますので、ぜひ参考にしてください。

### File.09 有機スズ化合物

有機スズ化合物は、スズと炭素が共有結合した化合物の総称です。トリブチルスズ (TBT) 化合物やトリフェニルスズ (TPhT) 化合物は特に毒性が強いと言われています。

#### ■有機スズ化合物の用途

ポリ塩化ビニル (PVC) の熱安定剤や、PUコーティングの生地・プラスチックプリント・ゴム・接着剤などの高分子材料の生産における触媒として使用されます。また、繊維、皮革、PUなどの合成/人工皮革に対する殺虫剤や防腐剤としても使われています。伸長特性や撥水機能を持たせるようなシリコン系加工においても、有機スズ化合物を含む可能性があります。アパレルとフットウエアのサプライチェーンで最も使用される可能性があるのは、プラスチック材料、スクリーンプリントとPUコーティングされた生地です。

#### ■有機スズ化合物の毒性

1990年代、有機スズ化合物は藻類や軟体動物など汚損付着生物の固着を抑制する作用を有することから、船底塗料や漁網防汚剤などに積極的に用いられてきました。しかし、TBT化合物やTPhT化合物がイボニシなど巻貝類の雌を雄性化 (インボセックス) する内分泌攪乱作用を誘導することが明らかとなった後は、雄性化を引き起こす代表的な環境ホルモンとしてヒトへの影響も懸念されています。

#### ■有機スズ化合物の主な規制

- ▶エコテックス® / スタンダード100
- ▶日本：有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律など
- ▶欧州：REACH (付属書17、SVHCなど)
- ▶韓国：子供製品安全特別法

#### ■エコテックス®事業部からワンコメント

エコテックス®ではTBT、TPhT化合物以外にも多くの有機スズ化合物が規制されており、繊維製品でも加工剤、接着剤に由来して検出される化学物質です。

### File.10 ビスフェノールA

主にポリカーボネート樹脂、エポキシ樹脂などの原料として使用されている物質です。硬化剤と反応させる過程で未反応のビスフェノールAが残留するため、ポリカーボネート樹脂やエポキシ樹脂の製品中にはごく微量のビスフェノールAが含まれている可能性があります。また、缶詰等の内面塗装剤にエポキシ樹脂が使われており、内容物にビスフェノールAが溶出する可能性があります。

#### ■ビスフェノールAの用途

大まかには中間物、有機化学製品用 (接着剤、合成樹脂、その他)、添加剤 (樹脂用、紙用)、電子材料等製品用 (その他) とされています。現在における主な用途は、ポリカーボネート樹脂、エポキシ樹脂などの原料であるほか、フェノール樹脂、可塑性ポリエステル、酸化防止剤、塩化ビニル安定剤などに使われています。また、エンブラ (ポリサルホン、ビスマレイミドトリアジン、ポリアリレート) の原料としても用いられています。

#### ■ビスフェノールAの毒性

男性の精子数減少、女性の子宮内膜症など、ヒトの生殖系に影響がある内分泌攪乱化学物質 (環境ホルモン) の一つです。一般毒性は弱く、ヒトに有害な影響を与えたと確認された事例は少ないと言われていますが、厚生労働省は公衆衛生の見地からビスフェノールAの摂取をできるだけ減らすことが適当と考え、食品衛生法で規制しています。

#### ■ビスフェノールAの主な規制

- ▶エコテックス® / スタンダード100
- ▶日本：食品衛生法、ST基準 (玩具の安全基準)
- ▶欧州：REACH (付属書17、SVHCなど)
- ▶米国：カリフォルニア州法プロポジション65

#### ■エコテックス®事業部からワンコメント

スタンダード100では、ビスフェノールA以外に要監視物質を含め、ビスフェノールB、ビスフェノールS、ビスフェノールF、ビスフェノールAFも規制されます。

### 【エコテックス®及び規制物質に関するお問い合わせ先】

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター ライフ アンド ヘルス事業本部 エコテックス®事業部  
〒124-0012 東京都葛飾区立石4-2-8  
Tel : 03-5875-6055 / E-mail : oeko-tex@nissenken.or.jp



ニッセンケン エコテックス®  
公式ウェブサイト

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター (本部)

〒111-0051 東京都台東区蔵前2-16-11 TEL : 03-5830-6660 E-mail : pr-contact@nissenken.or.jp

# お知らせ

## 2023年経済構造実態調査について

経済構造実態調査は、全ての産業の付加価値等の構造とその変化を明らかにし、国民経済計算の精度向上に資するとともに、経済センサス-活動調査の実施中間年における経済構造統計を作成することを目的とした毎年実施の調査です(ただし、経済センサス-活動調査の実施年を除く)。これは、政府の重要な調査であり、統計法(平成19年法律第53号)に基づいた報告義務のある調査(基幹統計調査)です。

経済構造実態調査の調査票は、5月より順次郵送配布されます。調査への御回答をインターネット又は郵送にてお願いいたします。

調査の詳しい内容につきましては、以下のHPをご覧ください。

経済構造実態調査(総務省統計局) <https://www.stat.go.jp/data/kkj/index.html>

経済構造実態調査(経済産業省) <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kkj/index.html>

## 編集後記

日中は汗ばむような気温の日も増えてきた。喉が渴けば今やコンビニで水やお茶が手軽に買える時代である。しかしコンビニで売られているペットボトルのお茶もいいが、せっかくの新茶の季節、茶葉からじっくり入れるお茶も味わいたい。

新茶というのはその年最初の新芽を摘み取ったお茶のことで一番茶とも呼ばれる。

冬の間に成長を止めて蓄えておいた栄養分がアミノ酸となって旨味や甘みの風味をつくりだす。いっぼう、二番茶以降は紫外線を浴びることでアミノ酸などの成分がカテキンなどに変化し、渋みのあるさっぱりとした味わいになる。

新茶と聞いてまず思い浮かべたのはお茶どころで有名な静岡や京都だろうか？

もちろん静岡や京都もおいしいお茶の産地であるが、新茶のシーズンは3月の下旬ごろより屋久島や種子島など南方から始まり、桜前線の後を追うように日本列島を北上していくのだそうだ。ひとくちに「新茶」と言ってもその製法によっても味わいが異なる。「深蒸し煎茶」と呼ばれるのは鹿児島や静岡に多い製法で、一般的な煎茶よりも2~3倍長く蒸すことで茶葉が細くなるため濃い味わいに仕上がる。また「釜炒り茶」と呼ばれるのは九州のごく一部でしか作られていない伝統製法で、生葉を高温の釜で炒った独特の香ばしい香りが特徴だ。

新茶の美味しいいれ方は、まず沸かしたての湯を湯呑みに注ぎ一呼吸おく。(湯温が100℃から90℃ぐらいに下がる)その間に湯呑み1杯分につき茶さじ4~5gの茶葉を急須に入れる。湯呑みでひと冷まししておいた湯を急須に注ぎ、45秒~1分程蒸らしたら最後の1滴まで注ぐ。こうすることで香り高く甘みのあるふくよかな味わいのお茶になる。

何事も「効率」や「タイパ(タイムパフォーマンス)」重視と言われる現代だが、ゆっくりと湯を冷まし、茶葉を蒸らす時間を楽しむ心のゆとりも必要なのではと思う。また色々な産地の新茶を飲み比べてみることで、それぞれの味わいの違いを感じながらその地方を訪れた気分を味わってみるのもいいのかもしれない。

皆様のご意見、ご要望、ご感想などお寄せいただければ幸いです。お待ちしております。

(E-mailaddress:gyoumu.osk@nissenkyo.or.jp)

一般社団法人日本染色協会 編集部

## 主要行事 令和5年3月・4月

### 一般社団法人日本染色協会

- ・令和4年度 第4回技術・環境対策委員会  
3月8日 於 コンファレンスプラザ大阪御堂筋
- ・技術環境見学  
3月8日 於 大阪市中浜下水処理場
- ・材料表面改質トライアルコア講演会(講師)  
3月10日 於 Web会議
- ・第2回 企画委員会  
3月16日 於 コンファレンスプラザ大阪御堂筋
- ・第3回 理事会  
3月29日 於 日本綿業会館

### 日本繊維産業連盟

- ・第145回 通商問題委員会  
3月2日 於 Web会議
- ・幹事会  
4月4日 於 Web会議

### 全国短繊維織物無地染工業組合

- ・第4回 企画・情報委員会  
3月9日 於 コンファレンスプラザ大阪御堂筋

### 経済産業省

- ・第3回 繊維製品における資源循環システム検討会  
3月14日 於 オンライン
- ・第4回 繊維製品における資源循環システム検討会  
3月28日 於 オンライン

### 日本経編整染工業組合

- ・第1回 企画委員会、第3回 調査情報委員会  
3月15日 於 コンファレンスプラザ大阪御堂筋

### 日本繊維機械学会

- ・染色加工研究情報分科会  
3月20日 於 京都工芸繊維大学
- ・テキスタイルカレッジ運営委員会  
4月13日 於 大阪科学技術センター

### 繊維学会

- ・繊維学会東海支部役員会  
3月24日 於 オンライン
- ・繊維学会誌編集委員会  
3月30日 於 オンライン
- ・繊維学会誌編集委員会  
4月21日 於 オンライン



地域に寄り添い、  
世界を結ぶ。



興和江守株式会社

本社 / 〒918-8510 福井県福井市毛矢1-6-23 TEL.0776-36-1133 FAX.0776-36-4002

**染協ニュース** 2023年5-6月号 Vol.342  
令和5年5月18日発行

発行 / 一般社団法人 日本染色協会  
JAPAN TEXTILE FINISHERS' ASSOCIATION.  
URL <http://www.nissenkyo.or.jp/>

無断転載厳禁

東京事務所 〒101-0047 東京都千代田区内神田一丁目15番2号  
神田オーシャンビル2階  
TEL 03(5577)6876 FAX 03(5577)6877

大阪事務所 〒541-0051 大阪市中央区備後町三丁目4番9号  
輸出繊維会館7階  
TEL 06(4963)2315 FAX 06(4963)2319

いいものは、きもちいい。  
 ———— こだわりの品質、ジャパン・コットン。



綿100%  
 「ピュア・コットン・マーク」

**JAPAN  
 COTTON**



**Pure Cotton**

綿混率50%以上  
 「コットン・ブレンド・マーク」

**JAPAN  
 COTTON**



**Cotton Blend**

日本で生まれて日本に育った私たちは、日本人だけに分かる心地よさを知っています。たとえば、春の日溜まりのぬくもり、夏の打ち水の涼しさ、障子からもれる明かり、鈴虫の音色。日本人だからこそ分かる本当の快適さを、しっかりと保証するための印を作りました。

ジャパン・コットン・マーク。日本国内で製造した高品質の綿素材を使用した製品だけに、その優れた品質を保証して添付されます。

お問い合わせ ● 日本紡績協会 TEL.06-6231-2665



- 用紙：琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー 責任ある木質資源や再生資源を使用したFSC®認証用紙
- インキ：環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造、廃棄に発生するCO<sub>2</sub>をカーボンオフセット済
- CO<sub>2</sub>排出量：906.7g/部